

行ってくれたと、今では感謝している。

音楽は1つには、何となく楽しむ、心が安まるという種類ともう1つは、心が高まる芸術的なものである。後者がクラシックであるが、個人差、場所、気分、時などによって感じ方も違うから何とも云えない。ポピュラーは短く単純明快で聞き易いが、クラシックは長いし身構えて聞くことになる。レコードではなかなか感動出来ないが、実演奏では奏者と聴衆の間に心の繋がりが出来て感動するものである。昨年市民オーケストラの演奏では、第一楽章が終わったところで異例の拍手が起り、演奏者も大変勇気づけられた。

知らないクラシックを飽きずに聞くには、前以ってレコードで予習するとよい。とにかく興味を持って聞くこと。スポーツでルールを知らないと解らないように音楽も内容を知らないとな面白くない。普段から少しでも聞きかじる習慣をつけておくと知らず知らずのうちに興味も湧いて来る。

昨年3日程、発熱で寝込んだ時、眼が痛くて本も読めず、結局私を慰めてくれたのは音楽であった。人間年をとると視力も弱まり、テレビや本に頼れなくなるから、その時音楽を楽しめるようにしておくと思う。そのため今から音楽を生活の中にとり入れることをおすすめする。

◎ 出席報告

会 員 数	69名	出 席 率	函 館 北 1月23日	94.12%
出 席	41名		函 館 東 1月22日	92.77%
欠 席	38名		函 館 1月17日	96.56%
他クラブ出席	23名		函館五稜郭 1月18日	100.00%
出席合計	64名		函館亀田 1月2日	88.09%
除 外 者	1名			

次回・2月13日
プログラム

会員卓話

「私の.....」

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1984~1985

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

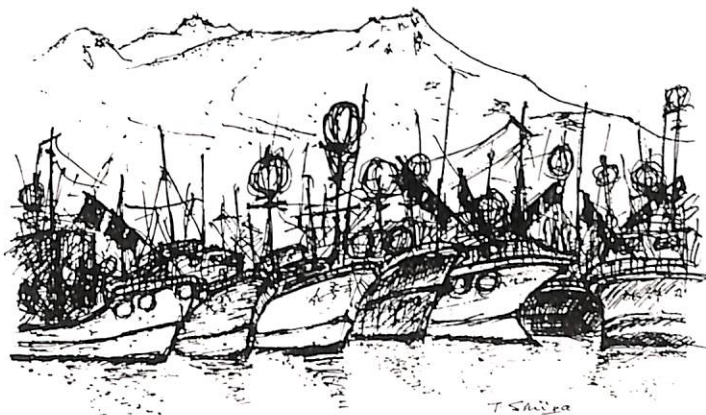
函館北ロータリークラブ会報

カルロス・カンセコ 国際ロータリー会長テーマ

Discover a New World of Service

見つけよう奉仕の新生面

椎谷
龍彦
会員



《第1037回例会》 第31号 2月13日(水)

本日のプログラム

会員卓話

「私の.....」

★会長 宮崎 英一 ★幹事 中川 洲平

1984~1985 <第 1036 回例会> 第 30 号

2月 6日の記録

◎司 会 宮 崎 英 一 会長 ◎齊 唱 奉仕の理念

◎ビジター 函館R.C. 福田憲一君他 1 名 函館東R.C. 吉村昭二君他 4 名

◎会長報告 宮崎 英一 会長

- 4月24日から26日の間、日韓親善会議が韓国で行なわれますので出席される方は、事務局まで申し出下さい。
- 会長賞のご案内 6%会員増強できますと、会長賞が授与されます。現在退会された会員もごさいます。当会員が75名になりますと会長賞がいただけるようごさいます。

◎幹事報告 中川 洲平 幹事

- 2月20日、当国際ホテルが休館になります。五島軒駅前店で当クラブの夜間例会とアッセンブリを午後6時から行います。会費はいりません。多数ご参加下さい。(7時より懇親会)
- 先日、函館クラブで映画鑑賞会がありました。大変反響を呼びました。北クラブにもご案内がきております。申し込みは事務局まで。

◎親睦委員会 三沢 洋大 会員

ニコニコBOX投入報告

- 宮崎 会員……………誕生祝頂きました。年令×100円です。
- 阿部 会員……………本日卓話ですよろしく。
- 安藤 会員……………BOXに協力致します。

○川村(邦)会員……………BOXに協力致します。

○関本 会員…………… ”

◎卓 話 映画 “津軽海峡の海底下を掘る、”

阿 部 修 会 員

人々の夢と期待を秘めた青函トンネルは、本州と北海道の両方から津軽海峡の海底下を掘り進めている。青森県浜名から北海道湯の里まで総延長53,850m、海海底部の長さ23,300m。これは、世界でも他に例のない世紀の海底トンネルである。

この青函トンネルを建設するため、昭和39年5月、日本鉄道建設公団が調査斜坑に着手。本格的な調査が開始された。そして、海底の地質を確かめていく先進導坑、続いてその上に、本坑掘削に必要な機材や人員の輸送、スリの搬出などに使われる作業を、そしてその後から掘削断面の大きい本坑を掘っていくのである。

先進ボーリングと薬液注入工法の組合せによって工事は進められていく。先へ先へと伸びていくトンネル。それに伴ってコンクリートの運搬距離も長くなる。そこで既に完成した第6本坑にバッチャープラントを設け、またガソリンが使えない坑内の動力、バッテリーの充電所を第3本坑に設けた。他に作業坑内に修理工場と濁水処理装置もある。トンネル開業後の軌道保守のための保守用車両を格納する保守基地も建設された。

日本鉄道建設公団によって調査斜坑の掘削が開始されて以来20年になろうとする昭和58年1月27日、先進導坑貫通の日。中曽根総理大臣によるスイッチ・オン。本州と北海道が今、津軽海峡の海底下で陸続きとなった。昭和21年の予備調査から数えて37年。その間の様々な思いが技術者たちの胸をよぎる。

山との闘い、水との闘い、そして時間との闘い。しかし人々の叡智と技術力を総合的に結集した青函トンネルは一步一步完成に近づいている。本坑が北海道側と本年3月につながる。

◎ 出席報告

会 員 数	69名	出 席 率	函 館 北	1月30日	94.12%
出 席	40名		函 館 東	1月29日	96.34%
欠 席	29名		函 館	1月24日	96.66%
他クラブ出席	24名		函館五稜郭	1月25日	100.00%
出席合計	64名		函館亀田	1月28日	90.47%
除 外 者	名				

次回・2月20日

プログラム

夜 間 例 会

五島軒駅前支店

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1984~1985

The Weekly Report of

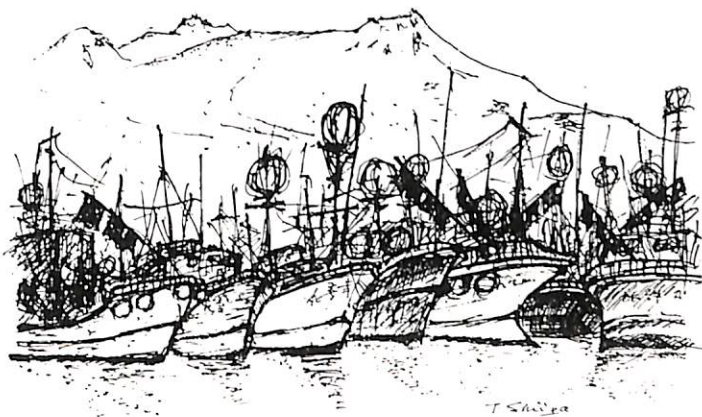
Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

カルロス・カンセコ 国際ロータリー会長テーマ

Discover a New World of Service

見つけよう奉仕の新生面



推谷 龍彦会員

《第1038回例会》 第32号 2月20日(水)

本日のプログラム

夜 間 例 会

五島軒駅前支店

★会 長 宮崎 英一

★幹 事 中川 洲平